

市長選公約の「教育の充実」はどう進めるのか

井之川博幸議員は、改正地方教育行政法が来年度から施行されることになると、及び今回の改正では教育委員会を廃止させるまでにはいかなかったことを示し、日本軍国主義による戦争遂行のための「国家による教育の統制」を反省してつくられた戦後の「教育委員会制度」を崩壊させようという教育委員会弱体化・廃止論についての見解を質しました。

教育長は、「教育委員会は、教育行政推進の要としてたいへん重要である」と答えました。

少人数学級の拡充を

つづいて井之川議員は、子どもたちに本当のゆきとどいた教育を実現していくためにも全学年30人学級が当面求められていることを示し、少人数学級の拡充することを求めました。



北小運動会

教育長は、「少人数学級編制は、児童生徒への指導の充実に効果があると考えておりますので、引き続き機会あるごとに群馬県教育委員会に拡充の要望を伝えていきたい」と答えました。

つづいて井之川議員は、「競争こそが質を高める」という新自由主義の理念で実施されている「全国学力テスト」は、結果の公表において全国で問題を起こしており、文科省が目指してきた教育改革の「学歴社会の弊害の是正」や「過度の受験戦争の緩和」という目標などとは程遠く、子どもたちにも悪影響を与えるものであり、参加を取りやめることを求めました。

教育長は、「国が実施しているこの調査に参加することは、本市の教育活動においても有効である」と答えました。

学校給食の無料化を

つづいて井之川議員は、日本社会は子どもの貧困が増加しており、現在では6人に1人が貧困で、子どもの教育を受ける権利の平等性や義務教育無料化の厳格な実施、少子化対策などによる地域社会の継続性を保持することが重要になっている状況の中で、就学援助を拡充すること及び（右上へ続く）

グリーンベル21取得へ臨時議会

横山公一沼田市長は、H26年度の補正予算を審議するための臨時議会を10月15日に開催する告示を各議員に通知しました。補正予算は、公有財産購入費など約4億8千万円を追加するものです。これは、グリーンベル21の85%を所有しているメドテックインベストメントⅡ・Ⅲの持ち分を取得するものと思われま

いきいき筋トレ大会・認知症予防フェスタ

4日、保健福祉センターにおいて「沼田市いきいき筋トレ大会・認知症予防フェスタ in ぬまた」が開催されました。



（左下からの続き）学校給食を無料化することを求めました。

教育長は就学援助について、「国では、生活保護制度の見直しの中で、生活扶助基準額を平成25年8月から段階的に引き下げておりますが、本市におきましては、市費負担であります主要保護児童援助費は、認定基準も変更せず、消費税増税分も含めて援助しております」と述べ、拡充については答えませんでした。

井之川議員は再質問で、国が2年前に「クラブ活動費」など、対象項目を追加したが、沼田市は追加していないので、最低でも国の項目に沿って拡充するよう求めました。

教育長は、「他市の状況などを調査し、検討していく」と答えました。

学校給食の無料化について教育長は、「県内の自治体の中には、子育て支援策の一つとして、給食費の全額または一部を免除しているところもあることから、今後、財政当局や関係機関とよく協議をしながら研究してまいりたい」と答えました。

2014年10月12日 No.720

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料